

令和3年1月7日	
資料提供	
担当課(室)	県立紀伊風土記の丘
担当班・係	学芸課
担当者	瀬谷
電話	073-471-6123

スポット展示 奈良国立博物館所蔵品里帰り展の開催について

下記のとおりスポット展示 奈良国立博物館所蔵品里帰り展を開催しますのでお知らせします。

記

1. 名称 「奈良国立博物館所蔵品里帰り展 経塚に願いを込めて」
2. 期間 令和3年1月9日（土）～令和3年3月14日（日）
3. 開催場所 紀伊風土記の丘資料館 常設展示室
4. 内容

県立紀伊風土記の丘は、奈良国立博物館との提携により令和2年度考古資料相互活用促進事業としてスポット展示を実施します。

考古資料相互活用促進事業は、双方が所蔵する考古資料を相互に貸借することによって体系的な展示・公開を行い、考古資料を有効に活用することで、来館者の多様かつ高度な学習ニーズに応えることを目的とします。奈良国立博物館では、和歌山県が所有する重要文化財・大日山35号墳出土埴輪並びに大同寺所有の銅製骨蔵器を展示し、一方当館では、奈良国立博物館が所蔵する県内の経塚出土品の里帰り展示を実施します。

経塚とは、仏教の経典を書写し、巻物にして耐久性の優れた容器（経筒）に納め、儀式に従って祀り、地中に埋納したものです。今から約1000年前の平安時代から鎌倉時代に、自然災害や飢饉、動乱が続いたことからこの世の終わりを説く末法思想が流行しました。経塚は、釈迦入滅の56億7千万年後に、弥勒菩薩が釈迦の再来として地上に降りて衆生を救うときに備えて、それまで大切に経典を保管しようという人々の願いを込めて各地で造営されました。

今回は、奈良国立博物館に所蔵されている県内の経塚資料の一部を借用し、関連資料とあわせてスポット展示を実施し、平安時代から鎌倉時代の人々が、経塚に託した願いについて、紹介します。
5. 入館料 一般 190円／大学生 90円

※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方及び県内在学中の外国人留学生は無料（要証明書）